

### 患者さんご家族、スタッフからも笑顔がこぼれました



回を重ねるごとに参加人数が増えて、今回 100 名を超える患者さんご家族、スタッフにも笑顔が届けてくれた J A H A (日本動物病院福祉協会) の訪問活動。11 月 12 日 (水) 午後 2 時から、各階病棟ロビーと緩和でふれあいの時間を過ごすことができました。訓練を受けているとはいえ、ワンちゃんにとって知らない人との接触はストレスにも



なるので、活動時間は 1 時間が限度。各階を巡回し個別訪問ご希望の患者さんの病室もお訪ねしましたが、滞在時間はどうしても少なくなります。それでも 2 階から 6 階までロビーにたくさんの患者さんが集まってくださいました。リードにつながれて登場したワンちゃんたちを見るなり、自然とこぼれる笑みと歓声。ふわふわのからだを撫でたり (右上ベルちゃん)、頭と頭をこすり合わせてご挨拶したり (左下ジャックくん)、おひざの上でまったりしたり (左中央サンちゃん・

右下こむぎちゃん)、患者さんの前で「待て」をしたり (右中ファンちゃん)、それぞれが個性をいかしながらの活動。直接のふれあいは無くても「遠くから見ていただけでいい」という患者さんも目を細めていらつしゃいました。初参加の弥七くん (左上) は、お見舞いに来られたご家族の子供さんとすっかり仲良しになって、皆が見守るなか、ハイテンションの遊び



で盛り上がり、「パワーを消費したことで落ち着きを取り戻しました」と飼い主さん。手の動かなかった患者さんが、一生懸命撫でようとしてくださったり、表情の出なかった患者さんが目を輝かしたり、今回の活動を通じて、ワンちゃんたちが届けてくれた笑顔プラス  $\alpha$  の大きさを、あらためて感じる事ができました。淑徳大学学生ボラン



ティア“カラーカラーズ”から 3 人がお手伝いで参加してくれましたが、「タイムキーパーをしたのですが、そろそろ時間です、と言うのがちょっと辛かったです」と。患者さんのワンちゃんとの離れがたい思いが、ひしひしと伝わってくる一幕もありました。ワンちゃん、飼い主さん達、ご協力いただいたスタッフの皆様、ありがとうございました。

